

製造業向け提案書 | 営業部門・出荷計画部門

出荷量を最大化する 3次元積付シミュレーション

VM-Cloud のご提案

残り空間の可視化で、出荷量・追加受注・輸送コストを最適化

現状の課題 — なぜ出荷量を最大化できないのか

輸出比率が高い製造業では、**出荷量の最大化が利益向上に直結**します。しかし従来の積付判断は物流現場に依存し、残り空間の把握が難しいため、追加出荷の可否判断や見積精度に課題が残ります。

01

現場依存の積付判断

積付ノウハウが属人化し、担当者以外は再現できない。

02

残り空間が不透明

「あと何個積めるか」が現場でしか分からない。

03

見積・追加出荷の精度不足

判断が遅れ、受注機会や利益を逃してしまう。

02 | ソリューション

VM-Cloud とは



- 3次元で積付状態をリアルに再現
- コンテナ・パレットの残り空間を即時に可視化
- 積付ノウハウを標準化し、属人化を解消
- クラウドで手軽に導入・運用

月額 10,000円 クラウドサービス

営業と出荷計画、両部門の利益に直結

共通基盤 = 残り空間の可視化

営業部門

- 出荷量の最大化
- 見積精度の向上
- 輸送コスト削減提案

出荷計画部門

- 計画精度の向上
- 計画変更への柔軟対応
- 現場との調整負荷の軽減

営業部門が得られるメリット

01

出荷量の最大化

残り空間を正確に把握し「あと何個積めるか」を即時判断。追加受注の可否が速くなり、売上機会を逃しません。

02

見積精度の向上

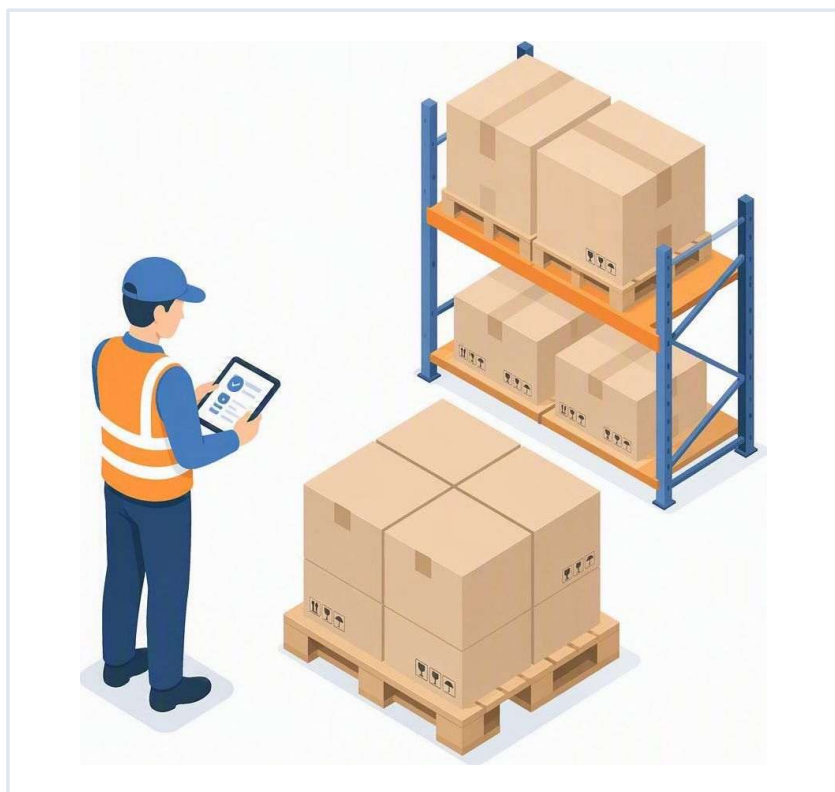
積載量を事前にシミュレーションすることで顧客への提案が具体化し、信頼性が向上します。

03

輸送コスト削減提案

積載効率を高めてコンテナ本数を削減し、顧客へのコストメリットを提示できます。

出荷計画部門が得られるメリット



1

計画精度の向上

積付量を標準化し属人化を解消。計画段階で正確な出荷量を把握できます。

2

計画変更への柔軟対応

残り空間が即時にわかるため、急な追加出荷や数量変更にも対応しやすくなります。

3

現場との調整負荷の軽減

積付判断を事前に可視化し、現場との確認作業を削減して業務を効率化します。

導入効果（例）

出荷量

+10～
20%

空きスペース削減

コンテナ本数

－1～2本

輸送費削減

追加受注対応率

向上

営業機会の拡大

計画変更対応時間

短縮

業務効率化

※ 効果は業種・貨物形状により異なります。

導入ステップ



オンラインデモ 30分

営業部門向けに残り空間の
可視化を紹介

トライアル 30日

出荷計画部門で実データを
用いて検証

評価ミーティング

空きスペース可視化による
効果の評価

本導入

営業・計画・物流の三部門
で運用開始

まとめ

VM-Cloud は、物流改善にとどまらず、営業部門・出荷計画部門の利益創出に直結する積付シミュレーションツールです。残り空間の可視化により、出荷量の最大化・追加受注対応・輸送コスト削減を実現します。

キーバリュー

出荷量の最大化

追加受注対応

輸送コスト削減

NEXT STEP

まずは無料トライアルから

貴社の出荷データを基にした**無料トライアル**が可能です。オンラインデモ（30分）で、残り空間の可視化をご体感ください。

VM-Cloud 月額10,000円

トライアル準備項目（実務整理版）

トライアル開始前に、以下のデータと制約条件を関係部門で揃えておくことで、精度の高い積付シミュレーションが可能になります。

① 出荷データ（製品情報）

営業・出荷計画部門

- ・製品コード
- ・出荷数量（予定・実績）
- ・荷姿サイズ（縦×横×高さ）
- ・製品重量
- ・荷姿種類（段ボール／木箱／パレット）
- ・向き制約（水平回転可否）
- ・積載優先度（急ぎ品・通常品）

② 積載制約条件

出荷計画・品質保証部門

- ・積み重ね可能段数（例：3段）
- ・積載禁止方向（天地無用など）
- ・荷重制限（上積み重量の上限）
- ・混載可否（他製品との混載）
- ・泣き別れ不可（同梱包/同積載必須）

③ コンテナ・パレット／ローカルルール

物流・倉庫部門

● コンテナ/パレット条件

- ・種別（20ft／40ft／40HC・T11型）
- ・内寸（長さ・幅・高さ）
- ・最大積載重量
- ・ドア側の積載制約・
- ・フォーク爪の差込方向

● ローカルルール

- ・独自の積付順序
- ・優先配置位置
- ・安全上の注意点（重心・転倒）
- ・積付パターン（テンプレート）

■ 操作動画 30分

- ・ データ変換マクロ～データ取込&計算 6分15秒
nl-system.jp/movie/VM-Cloud_operation_005.mp4
- ・ 新規データ入力画面&計算 5分6秒
nl-system.jp/movie/VM-Cloud_operation_003.mp4
- ・ 計算結果リンクシュア機能 32秒
nl-system.jp/movie/guide2-4.mp4
- ・ 単品パレット 積付パターン算出機能 53秒
nl-system.jp/movie/guide1-1.mp4
- ・ コンテナ単品満載数算出機能 58秒
nl-system.jp/movie/guide2-6.mp4
- バンニングマスター・クラウド 操作マニュアル (HP)
<https://vmc-manual.vanning-master.jp/>

導入判断チェックリスト

トライアル利用後、体感・業務改善度・活用可能性を整理し、導入可否を判断するための評価リストです。各項目を Yes / No で確認してください。

営業部門	出荷計画部門	操作性・運用面
☐ 追加出荷の可否判断が早くなった ☐ 顧客への積載量説明がしやすくなった ☐ 見積段階で積載量を提示できる ☐ 営業機会が拡大する可能性を感じた ☐ 月額1万円の価値を感じた	☐ 計画段階で積載量を正確に把握できた ☐ 計画変更への対応が楽になった ☐ 現場との調整がスムーズになった ☐ 属人化した積付判断を標準化できる ☐ 出荷量最大化に役立つと感じた	☐ 操作が簡単でストレスなく使えた ☐ 必要な機能を一通り試せた ☐ 社内で運用できるイメージが持てた ☐ 他部門との連携が取りやすくなる
Yes 12以上 → 導入を強く推奨	Yes 8~11 → 導入検討の価値あり	Yes 7以下 → 課題整理のうえ再検討